

# みなへらまたで そう 通信 No.16

みなへら通信 第16号 2016年3月15日

ゼロ・ウェイスト宣言のまち、水俣から  
ムリなく 楽チンに みんなで ごみへらし  
みなまたスタイル情報紙

編集：ゼロ・ウェイスト円卓会議  
発行：水俣市環境クリーンセンター

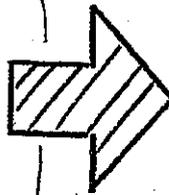
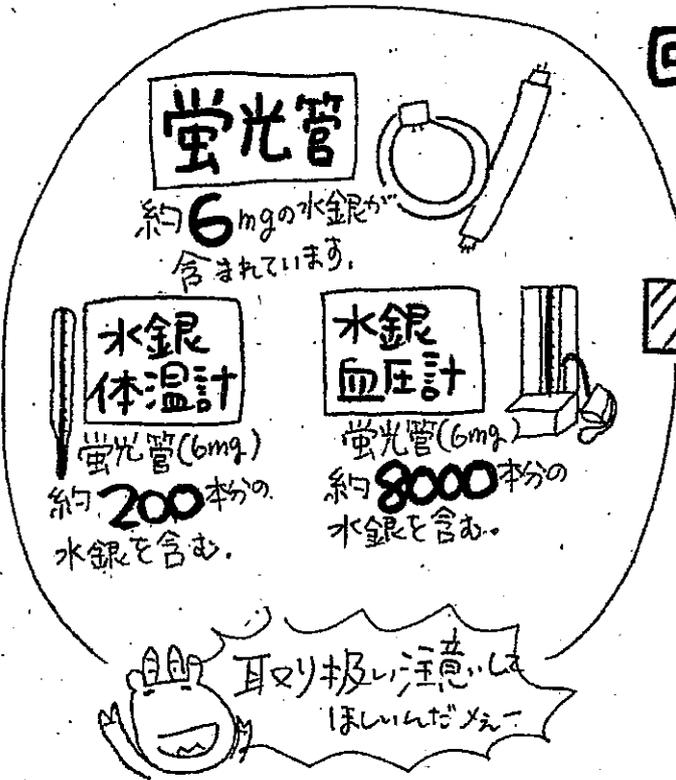
## お家に水銀が使われている体温計・温度計・ 血圧計は眠っていませんか？

水銀が使われているこれらの製品については、燃やすごみに出さずに**必ず資源ごみの灰色の「蛍光管類」**に入れてください。そのままでも構いませんがケースや箱があれば入れて出してください。また、割れたものも「蛍光管類」に入れてください。

回収のご協力よろしくお願いします！

月1回の

**資源の日**に出して下さい<sup>00</sup>



ケースがあれば  
ケースに入れて出し  
下せ。  
割れたものも  
入れて下さい！

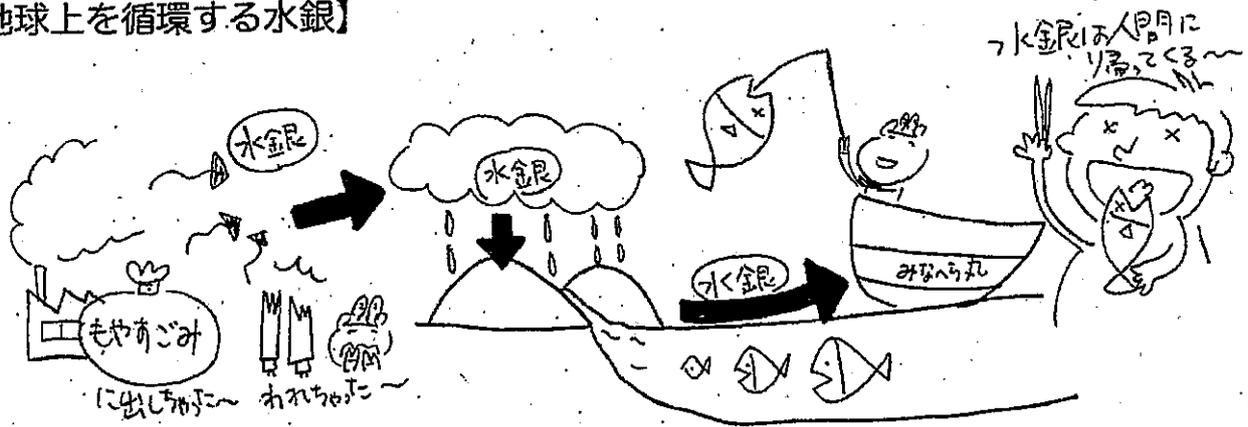
クリーンセンターに直接持ち込み  
でも大丈夫ですよ！

### なぜ水銀製品を回収するの？

水銀は、蛍光灯の蛍光管や体温計、血圧計など私たちの暮らしの中で広く使われてきました。しかし、私たちがよく知っているとおり、水銀は有害な物質であり、環境に排出されると、大気や水を通じて全世界を循環して健康被害や環境汚染をおこすおそれがあります。そのため、水銀を含む製品はきちんと回収して処理する必要があります。

裏面に続く！

## 【地球上を循環する水銀】



水銀製品を壊したり燃やしたりすると水銀が蒸発して大気中に拡散し、雨などでまた地上に戻り、川や海を汚染します。埋立ごみに混ざれば、埋立地が水銀汚染され、雨水によって水銀が川や海に運ばれたり、地下水の汚染が心配されます。環境に排出された水銀は、水中でバクテリアの働き等でメチル水銀に変わり、食物連鎖等によって、私たちが食べる魚などの生物の体内に高濃度に蓄積されてしまいます。

環境や健康への悪影響を防ぐため、「水銀に関する水俣条約」という国際的な水銀管理の取り組みがスタートしています。

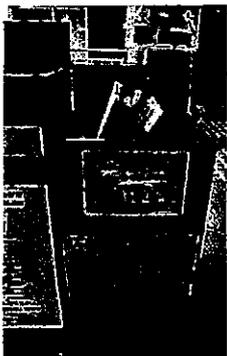
### ◎水銀に関する水俣条約 ってなあに？

世界的な取り組みで水銀による環境や健康への悪影響を減らすための「水銀に関する水俣条約」が、2013年10月に92カ国の署名により採択されました。実際に条約が発効するのは50カ国の条約締結後で、早ければ今年中にも発効する見通しです。

日本国内で回収された水銀の多くはこれまで輸出されてきましたが、水銀条約で輸出は制限に向かいます。体温計などの一部の水銀製品の製造も2020年末までに原則禁止されます。

水銀を含んだ製品を回収・処理することはもちろん、リサイクルされた水銀の輸出で途上国での健康被害等が起こらないよう、「水銀を使わない世界の実現」まで視野に入れていきたいものです。

## 「その他紙類」の分別には 紙袋 が便利ですよ～！



前号でお知らせした「紙袋ぐ～るぐるBOX」、もうお使いになりましたか？

お菓子・食品・ティッシュ等の紙箱、トイレットペーパーやラップ類の紙芯、包装紙などの分別は、紙袋が楽チンです。そんな紙袋をやり取りする場所が「紙袋ぐ～るぐるBOX」！分別に便利な紙袋が必要な方はお持ち帰りいただき、家に紙袋が余っている方は、どうぞ、「紙袋ぐ～るぐるBOX」にご提供ください。

設置場所 もやい館 2階受付の斜め前 / 総合体育館 1階の階段裏

おれんじ館 事務所前付近

「みなへら通信」は、ごみの焼却・埋立に頼らないまちづくりの仕組みを市民・事業者・行政の協働でつくっていくゼロ・ウェイスト円卓会議が発行する情報紙です。バックナンバーは水俣市のホームページからもご覧いただけます。

みなへら通信

検索

お問い合わせ：水俣市環境クリーンセンター TEL 62-4101